

一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により
通告します。

平成 28 年 11 月 21 日

議席番号 9 番

東村山市議会議長 様

質問者 渡辺 英子

記

番号	質問の項目と要旨
1	<p data-bbox="240 857 1059 902">東村山の文化の拠点である図書館を考えよう</p> <p data-bbox="272 936 1422 1016">最近「公共図書館」を語るうえでは指定管理制度の是非が声高にいわれるが、コストや管理制度以前に十分検討しなければならないことがある。</p> <p data-bbox="292 1030 1203 1066">東村山市の文化の拠点としての図書館をこれからどうしていくのか。</p> <p data-bbox="272 1079 1422 1160">市の魅力を創出する潜在力をもつ施設の一つとして、機能の面から図書館の方向性を考える。</p> <p data-bbox="292 1223 1422 1303">(1)住宅都市である当市の「公共図書館」が果たすべき役割について、またあるべき姿について伺う。</p> <ul data-bbox="292 1317 1225 1451" style="list-style-type: none">①社会教育的見地から教育長に伺う。②妊産婦、乳幼児の居場所、養育の見地から子ども家庭部長に伺う。③総合的に市長に伺う。 <p data-bbox="292 1514 863 1550">(2)現在の図書館の活動から以下を伺う。</p> <ul data-bbox="292 1563 1422 1832" style="list-style-type: none">①乳幼児図書読み聞かせボランティアの活動状況、これに対する市のバックアップ体制について伺う。②人口 10 万～20 万の多摩地域自治体 13 市における資料費のランキングを踏まえ、この状況が市民の文化や生活に及ぼす影響について伺う。③現在の人員体制について、正職員が減少する中で十分なサービスが行えているか。

番号	質問の項目と要旨
	<p>(3)第4次総合計画「まちの価値の向上」、「ひとの活力の向上」、「くらしの質の向上」に資する東村山市の魅力を生み出すアイコンとしての図書館が必要と考える。これらの向上を目指して、図書館に必要な要素を考える。</p> <p>①(2)-①を踏まえ、読み聞かせの会に保健師とコラボするなど現場は細やかに工夫している。母子だけでなく、母がホッとできる空間をつくるために保育士を定期的に常駐させるなどの取り組みをしている自治体もある。産前産後の母子を育む場としての図書館の役割について伺う。</p> <p>②公民館の2階に子どもたちの居場所が緩やかにつくられている。滞在型図書館として、年代別の居場所である図書館、新しい出会いや相乗効果をもたらす場としての図書館の役割について伺う。</p> <p>③総合戦略会議でもご意見があったが、創業やビジネスのレファレンスができる、発想や相乗効果をもたらす場としての図書館の役割について伺う。</p> <p>(4)図書館の在り方を考える市民参加の仕組みづくりを！</p> <p>外観が与えるイメージ、資料費の検討、対面音読室の場所、中央館と地域館の役割など施設再生以前に解決すべき課題が多く考えられる。</p> <p>現在の市民生活にあった東村山らしい図書館について、今図書館にかかわっている人、かかわっていない人も含め市民と一緒に考える枠組みが必要と考える。市長に総括的に伺う。</p>